

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/08/02～2018/09/05)

1. 勉学の状況

8月2日に到着してその次の日からスウェーデン語のインテンシブコースの授業がありました。私のクラスはドイツ人がクラスの半分くらいいて、ドイツ語とスウェーデン語は似ているため自然と授業の進度が早くなり、ついて行くのが本当に大変でした。そして先週オーラルテストとライティングテストがあって、無事に終わりました。オーラルテストは3人で30分間先生の質問に答えたり教科書を音読したりします。ライティングテストはテスト専用の建物で受けました。そこは体育館くらいの広さに机が何個も並んでいて、私たちは平等に評価されるために解答用紙に名前を記入しないで受けます。予想していたよりも簡単でほっとしました。これからもスウェーデン語は勉強してもっと理解できるようにしたいと思います。

昨日から新しいコースが始まりました。Sweden and Swedes というコースです。スウェーデンの政治や経済、文化について学び、他のヨーロッパの国々と比較します。想像よりも規模の小さいクラスで8人くらいで受けています。発言のチャンスが多くなると思うので、物怖じせずに自分から積極的な姿勢で挑みたいと思います。毎週の授業で参考資料を100ページくらい読む課題が出され、その内容について次の授業中にディスカッションするので他の生徒よりも英語に欠点がある分、彼らよりもしっかりと準備して参加しなければいけないなと感じています。何かと逃げ出したくなることが多いヶ月でしたが、もうすでに留学期間の十分の一が終わったと思うと、あっという間に帰国の日が来てしまうなと焦ります。生活も落ち着いたのでこれからはもっと自分に付加価値をつけれるような活動もしていこうと思います。

2. 生活の状況

スウェーデンについた日には空港までバディチューデントが迎えに来てくれました。バディは事前にオンラインで申請します。そこからバスで3時間、アーランドからストックホルムを通ってリンショーピンまで移動して、大学のInternational Officeで寮の鍵をもらって学生証を作って、買い物をして、もう動けなくなるくらい疲れた一日でした。それでもバディがいなければあんなにスムーズに問題なく事が進まなかったと思うので、本当に感謝しています。スウェーデン語の授業は9時から3時までありました。大学までの移動手段は自転車です。友達から要らなくなった自転車を700クローナで買い取りました。ランチタイムは一時間あって、ほとんどの人が自分で作ったランチボックスを持参してきていて、大学には電子レンジがたくさんあるのでそこで温めて食べています。こっちは人は本当に驚くほどみんな料理ができます。寮では9人が一つのキッチンとリビングを共有しています。台湾人3人とスウェーデン人5人と私です。キッチン用具も揃っているので自分で買う必要はないです。台湾人の一人が炊飯器をどこからか(おそらくフェイスブックで)見つけてきて使っているのが羨ましいです。ダウンタウンのアジアンショップでカレールーやだしが売っているのを見たときの感動は書き表せません。自分で工夫すれば日本食が全く食べられないということはないので、その点は心配しなくていいと思います。

たくさんの友達に支えられて、一番つらいと聞いていた最初のヶ月目を乗り越えることができました。日本にいるときよりも言葉に不自由を感じている事もあってか、周りの人達の温かさや忍耐に深く実感します。9月も元気に頑張ります！